



中里北部地区社協だより



第64号 2022年2月28日 発行責任者 飯島 文夫

ごあいさつ

立春とともに寒気も和らぎ、春めいてまいりました。皆様におかれましては、お元気でご活躍のこととお喜び申し上げます。

一昨年から続くコロナウィルスの、感染拡大がいまだ収まらず、日常の暮らしが脅かされています。このような状況の中、社会福祉協議会の事業は、感染対策を取りつつ一部の事業を実施しているのが現状です。

今年は、3回目のコロナワクチン接種が進み、感染が早期に収束することを期待し、2年間取り組むことができなかった「心豊かに暮らせる地域づくり」を令和4年度の事業計画として進めてまいります。

本年も皆様に、変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げますと共に、一日も早くコロナから解放されることを願いつつ、ごあいさつとさせていただきます。



会長 飯島 文夫

年末助け合い募金

2021年の年末助け合い募金には、中里北部地区の皆様の心温まる善意の御寄付を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

おかげ様で右記のとおり多額の御寄付を頂きました事は、皆様の社会福祉に対する深いご理解とご協力の賜物と思っております。

特に、各町内会・自治会役員の皆様には、ご尽力いただきました事を深く感謝申し上げます。

御寄付は要援護世帯、社会福祉施設、社会福祉団体(地区社協、配食サービス団体、ボランティア、地域障害者団体)、障害者地域作業所等へ配分されます。

中里北部地区2021年末たすけあい募金実績

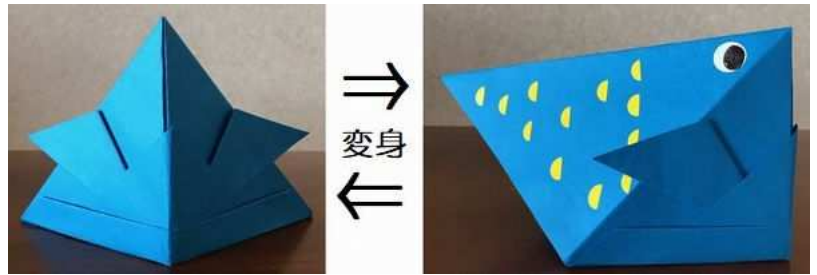
2022.1.31現在

たちばな台町内会	433,357
たちばな台西自治会	61,200
鴨志田町内会	250,262
鴨志田緑自治会	124,900
グリーンヒル鴨志田東団地自治会	0
グリーンヒル鴨志田西団地自治会	65,900
横浜市営鴨志田住宅自治会	19,600
寺家町内会	39,250
たちばな台ガーデンハウス自治会	8,000
合計	1,002,469

子育てふれあい広場より

ふれあい部 森田文子

「子育てふれあい広場」は予約無しで気軽に参加できる親子のための広場です。この二年あまりコロナ禍で思うような活動ができていませんが、少しずつコロナ以前の活動に戻りつつあります。今年度は“変身兜飾り”や“クリスマス飾り”の製作で季節感を味わったり、手作りおもちゃや足型・手型の製作で楽しい時間を過ごしました。12月22日の子育てふれあい広場ではお菓子釣りゲームを行い大いに盛り上がりました。お菓子だけでは無く日用品も景品にしたのでママたちも大喜び！沢山のお菓子と景品を袋に詰めて笑顔いっぱいでした。



人とふれあう事が制限されている今、孤立感や閉塞感を強く感じているご家庭も多いと思います。そのような時だからこそ身近にある地域の子育て広場をご活用ください。地域は子育て世帯の応援隊です。感染対策を行いながら親子の憩いの場となるように努めています。

毎月第4水曜日(8月はお休み)13時30分から鴨志田コミュニティハウスで開催しています。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

紙ひこうき大会

青少年部 松本勝美

2022年1月23日(日)今年も鴨志田緑小学校にて紙ひこうき大会が行われました。

子どもたちもベテラン参加者も自作の紙ひこうきを携え、家族・スタッフを含めて約90名がグラウンドに集まりました。

体育館での開催予定でしたが、感染状況を鑑み、グラウンドにて開催となりました。検温・消毒を行い、ソーシャルディスタンスを確保して、準備運動、滞空時間の計測を行うことができました。

一人三回ずつ紙ひこうきを飛ばし、滞空時間を計測していきます。

『前に飛ばすか？上に飛ばすか？風向きはどちらだろう？』と身体を使って、自然を感じ、試行錯誤する子どもたち。親子で作戦会議をしている姿もありました。紙ひこうきが飛ぶたびに、「お～！」「おいしい！」と笑いや感嘆のどよめきが起こります。そして、優勝者の飛行では、参加者みんなで空を見上げ、ゆったりと舞う紙ひこうきの行方を追っていき、滞空時間は『6秒57』！！素晴らしい空の旅を見せてくれました。

制作の過程から親子で取り組んだり、「すごかったね！」と地域の方に声をかけられたり、子どもたちは紙ひこうきを通じて、人とのふれあいを感じられたことと思います。直接的な触れ合いは難しいご時世ですが、心のふれあいを大切に地域で子供たちを育む一助となれたのではないのでしょうか。



スタンプウォークラリー

青少年部

令和3年11月7日の良く晴れた日に、寺家のふるさと村で約70人が参加して5人の魔法使いの出すクイズやゲームに挑戦しました。

Jike 夢と魔法の国へようこそ！

Jike 夢と魔法の国には5人のWizard(魔法使い)がいます。

木の魔法使い、水の魔法使い、石の魔法使い、空の魔法使い、闇の魔法使い

それぞれに挑戦してください。



石の魔法使いには石を積み上げて高さを競いました。



すこやか食事会

すこやか食事部 田村明美

コロナ禍で、開催出来ていなかった「すこやか食事会」ですが、見守り対象の方々などに10月にお菓子を配布しました。

また、昨年末に感染状況が落ち着いてきたので、短時間、少人数にして、まずはお会いできなかった期間の過ごし方などお話しできればという思いで「さわやか茶話会」を企画しました。しかし、今年に入りまた感染者が増加の一途を辿ることになり、断念せざるを得ませんでした。

四月には是非笑顔でお会いできることを祈っています。



お花見会

2022年4月1日に予定していた、鴨志田第6公園での、お花見の会は新型コロナウイルス感染防止のため中止となりました。来年は是非開催できますよう期待しています。

総会の件

2022年5月に予定していた中里北部社会福祉協議会の総会は3密を避けるため書面総会となります。

みなさんは、自分の住んでる中里北部に、何人のお友達がいますか？ また何人の困った時、助けてくれる人がいますか？

もし、足をくじいて買物に行けない時、家族が近くにいない場合は大変です。自分は何でもできるから、必要ないと思っている方、民生委員やケアプラザの人とつながってみませんか？ いつの間にか、お互いに気づかう関係が生まれます。このごろあの方顔見ないけど、どうしているのかな、何かあったのかな、ゆるやかな見守りを通して、子供も大人も安心な地域が生まれると思います。

さあ、今年は何人知り合いが増えますか？

いろいろな「気づき」がありました

「中里北部地区気づきの和連絡会」を発足し2年が過ぎようとしています。

「みんなが見守り、見守られ、一人も取り残されないまちをつくろう」を目標に掲げ、年5回程、会議をおこなっています。連合町内会・地区社会福祉協議会・民生委員児童委員・学校・PTA・NPO 法人・新聞店・郵便局・ボランティア団体・区役所・区社会福祉協議会・ケアプラザ等が参加し、「あったらいいな」「こんな良いことがありました」「皆がつながり、地域で今後おこなっていききたい取り組み」などを話し合っています。現在、次のステップとして、そのエピソードを地域の皆さまへ伝える方法を話し合っているところです。また様々な出会いをきっかけに、協働で講座等も行なっています。今後も企業等にお声かけし、新たなつながりを増やし、中里北部にいる全ての人たちのつながりの輪（和）を拡げていきます。



中里北部地区
気づきの和

※横浜美術大学の
学生さんがデザイン

民生委員・PTAの方より「雪の中を歩くことに慣れていない。日陰の道もあり、雪が解けていないところが気になっている」「高齢化もすすみ家の前の雪かきを自分で出来ない方も増えているかもしれない」など身近に感じる困り事も挙がりました。何か地域でできることはないか？を考えていく場にもなっています。



会場とZoom参加で
28名が参加

廣田新聞店、ちょこボラ、鴨志田緑小学校、鴨志田中学校（予定）にて認知症サポーター養成講座を実施。参加をきっかけに「気づく目」が更に増え、中学生や新聞配達員さんによるご高齢の方への手助けにつながっています。

何か気づいたら ケアプラザへ

鴨志田地域ケアプラザ ☎ 045(961)6911

気づきの和は2021/01/01に
タウンニュースで紹介されました。



編集後記

- *コロナに振り回されてすでに2年、今まで考えたことのなかった「普通」の生活の有難さが身にしみます。
- *色々と制限される中ではありますが、今号はコロナ禍での活動の一部を紹介させていただきました。

広報部長：高山好主

編集員：高松正

篠原秀子

榎本隆子